

石狩川下流域外減災対策協議会 夕張川上流地域部会(第9回)

- 堤防の決壊や越水等に伴う氾濫に備え、河川管理者、北海道、市町村等の関係者が連携して減災のための目標・取組方針を共有し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、ハード・ソフト対策を一体化、計画的に進めており、その取り組み状況についてのフォローアップ等を行うため夕張川上流地域部会を開催した。

日 時：令和7年2月21日（金）14：00～15：00

開催方法：WEB会議

構 成 員：北海道開発局（札幌開発建設部）
夕張市、由仁町、栗山町
気象台（札幌管区気象台）
北海道（空知総合振興局、札幌建設管理部）
北海道警察

オブザーバー：国土地理院（北海道地方測量部）
北海道運輸局
北海道旅客鉄道(株)

報告のあった自治体の取り組み事例

- ・ 防災教室の開催
- ・ 1日防災訓練で子供の関心を引くための工夫を行う
- ・ 防災ガイドブックの改定
- ・ 大雨を想定した防災訓練の実施
- ・ 自家発電機の整備、点検要領や取組説明を実施
- ・ 簡易担架の作り方、AEDの使い方を実施
- ・ 緊急告知FMラジオを導入し全戸配布を予定
- ・ 避難行動支援個別計画にシステム導入

など

地域部会の様子（WEB開催）



自治体等主な会場



札幌開発建設部



江別河川事務所

※写真を掲載しているのは参加者（会場）のうちの一部です

減災や流域治水に関する取組や工夫した点について



夕張市長

代理出席：副市長

- 水災害リスクが高まった際に、自ら身を守る行動や自宅及び拠点施設を含む地域の状況を知っておくなど、日頃から防災・減災に対する意識を高めることが課題。
- 防災教室について、小学校と中学校において学年別に内容を考慮し、防災や減災に関する意識や知識の向上を図っている。
- 生活館等に自家発電機を整備し、その発電機の点検要領や取り扱いについての説明と自助・共助の重要性についての防災講話を行い、防災意識の向上に努めている。
- 大雨による大規模な災害を想定した訓練を、消防本部・消防団・警察署が連携して実施しており、災害対応能力・住民の防災意識と避難習熟度の向上を図っている。



由仁町長

代理出席：防災担当

- 防災訓練では札幌管区気象台協力のもと、大雨を想定した町民参加型のワークショップを開催。
- 災害派遣時の機材紹介や簡易担架の作り方、AEDの使い方など自衛隊・警察・消防の協力のもと実施。
- 町民の方に自分事として参加してもらう工夫をしたことにより、アンケートでも好評だったので次年度は更にアイデアを盛り込んで参加率向上を図る。



栗山町長

代理出席：総務課主幹

- 1日防災訓練では子ども達の関心を引くため札幌管区気象台職員の協力のもと、分かりやすい形で雲や地震の発生メカニズムなど、防災に触れながら学ぶ機会を提供。
- 緊急告知FMラジオを導入して全戸配布を目指しているが、受け取り率が4割となっているので普及を進めたい。
- 例年開催している総合防災訓練では水防団の協力のもと、土のう訓練も実施。
- 防災ガイドブックの改定を実施、防災に必要な情報を追加することが課題。
- 避難行動支援個別計画でシステムを導入したので推進を図っている。

減災や流域治水に関する取組や工夫した点について



夕張川上流
地域部会長
江別河川事務所長

- 関係機関及び各自治体においては、日頃から防災・減災への数多くの取組をいただいております、大変感謝。
- 防災を推進するためには、防災を自分事として捉えることが第一であり、そのためには関係機関と連携した住民参加型の訓練、講習会等が効果的と考える。
- 本協議会のような会議を機会に、他の自治体の取組を参考に、良いところがあれば積極的に取り入れていただければと思う。